

校長のつぶやき

校長室便り 第40号

令和元年11月28日 山内

○学校保健安全委員会・職員安全衛生委員会－朝食は必ずとる スマホは1日1時間以内 教師はブラック仕事－

11月27日(水)午後、本校会議室にて、令和元年度学校保健委員会・職員安全衛生委員会が開催されました。学校医・薬剤師の先生方は、内科医の高橋直典先生、歯科医の千葉昭久先生、薬剤師の伊藤信逸先生にご出席いただき、様々な角度からご助言をいただきました。岩高からは嶺岸教頭先生、大場事務室長、主幹の佐々木先生、生徒部長の矢内先生、保健主事の岩淵先生、そして養護教諭の長谷川先生が出席されました。丁度同じ、11月27日には県教育委員会高校教育課から「宮城学力状況調査」の結果が、厚生労働省からは「スマホゲーム障害」に関する実態調査結果が発表されました。

生徒に関して、まずは生活習慣。宮城学力状況調査でも警笛が鳴らされていますが、「朝食をとらない」と健康面だけではなく、学習面にも悪影響が出ています。岩高に限らず宮城県全体の傾向として学年が進行するごとに朝食をとる生徒数が減少しています。必ず朝食をとる生徒と、とらない生徒との学力差は歴然としています。朝食をとることが一日の始まりの基本です。朝食をしっかりとることが、「学力向上」を柱とした「学校生活全般」の第一歩なのです。「脳トレ」で有名な東北大の川島隆太先生は「ご家族が忙しいときは、高校生が朝食を自分で作れば良い」とご自身の高校時代のことを引き合いに出し、朝食の重要性を説いています。朝食は先生方にも同じ事が言えます。岩高生のお手本になりましょう。

続いて、スマートフォン。家庭学習に集中できない理由に、「スマホでの通話、メール、ゲーム、ネット」をあげている高校1年生は宮城県内で60%を超えています。厚生労働省の調査では、全国で調査に回答した10代と20代9000人の内、7%が授業中や仕事にもスマホゲームを行い、休日には12%もの人が6時間以上スマホゲームを行っていました。国もやっとう重い腰を上げ「ゲーム障害」を「精神疾患」として治療、今後は防止策を考えるということです。宮城学力状況調査では数年前からこことは問題視していて、今回の調査でも、「2時間以上勉強し、スマートフォン等を2時間～3時間未満使用する生徒(●)」と「1時間以上2時間未満勉強し、スマートフォン等を30分～1時間未満使用する生徒▲)」の正答率が逆転している。としています。勉強をする以前に、まずは、スマホは1日1時間以内の生活を心掛けてください。まだ間に合います。

最後は先生方に関して。現在日本中では「働き方改革」が叫ばれています。特に教員は「ブラック仕事」と呼ばれ、ある調査会社の最新10月の調査結果によれば、なりたくない仕事ベスト5に入っています。原則として1日に8時間、1週間に40時間を超えて働いてはいけません。厚生労働省はこの勤務時間を超えていわゆる「時間外勤務」が80時間を超えることを「過労死」ラインと呼んでいます。岩高に限らず、土日に部活動等があって教員の場合は時間外勤務を要することもしかたありません。だから宮城県教育委員会は部活動ガイドラインで土日はどちらかを必ず休みにする等を今年度より実施しています。岩高生の皆さんには「教員」は魅力的な仕事に写りますか？自分の時間も家族の時間も投げ出して、生徒にだけ時間を費やす教員が理想の教員ですか。どんな教員が求められていますか。是非、私に聞かせてください。直接岩高の先生方に話してみてください。その答えは教員が目指している理想像とは違っているかもしれません。さて、もうすぐ師走です。

○修学旅行－関西方面3泊4日－

12月4日(水)から7日(土)まで2年生96名が、関和佳子団長はじめ、岩高の先生方の引率で京都・奈良・大阪に修学旅行に行きます。体調を整え、ルールを遵守して楽しい旅行にしてください。引率の先生方には、マラソン大会や岩高祭と同じように、今回も大切な学校行事ですので、時間外勤務をお願いすることになります。修学旅行の引率も「ブラック仕事」ですが、どうぞよろしく願いいたします。では今回の校長のつぶやきはこれでお終いにします。

清水で今年の一字詠むならば 新風和改暴災嵐

長いようであつという間の4日間ああこれからは進路対策